

日本保険学会大会シンポジウム

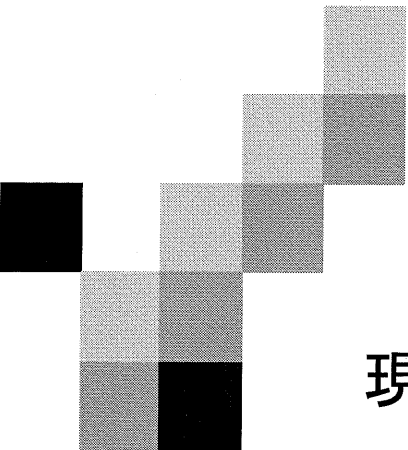
# 民間医療保険の 課題と将来

平成18年10月28日

於：中央大学

1

---



問題提起：  
民間医療保険の  
現状認識と構造的特徴

慶應義塾大学

堀田一吉

2

# 問題意識

民間医療保険へのニーズは、近年、顕著な高まりを見せている。しかし、医療保険には、伝統的保険商品(死亡保険や年金保険など)とは、異なる構造上の特性を有しており、それゆえに、十分に特性を踏まえた上での、発展普及や経営展開が求められるところである。とくに、高度に多様化が進んだ現在、契約者利益保護の観点から、留意すべき課題が多い。民間医療保険が確実な保障を提供し続けるためには、いま何をすべきか。民間医療保険が直面する現状と課題を多角的に捉えて整理し、将来展望を行う。

※民間医療保険の対象＝いわゆる「第三分野保険」のうち、傷害、介護を除いたもの

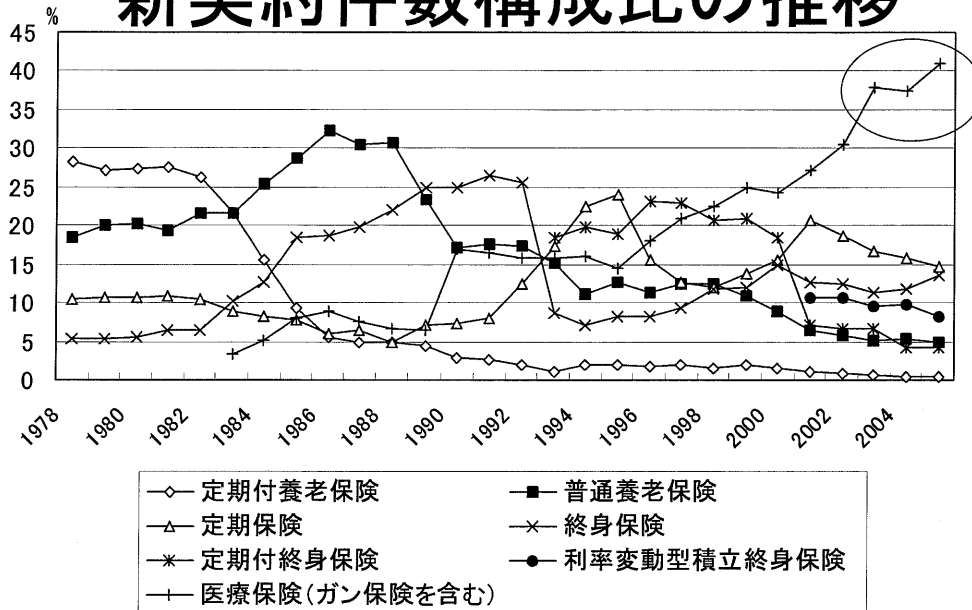
3

## 1. 民間医療保険をめぐる現状認識

- 近年、民間医療保険に対する国民の関心は非常に大きくなっている。医療保険改革の中で、高い自己負担率が進んでいる。とくに、非公式な患者負担は、一段と増加する傾向にある。
- これまで、公的医療保険が広範な保障範囲を提供しており、実際に、医療保障に関して民間医療保険の担っている領域は小さい。
- 民間医療保険は、公的医療保険との関係において、有機的連携はとられておらず、むしろ所得保障機能としてのウェイトが大きい。
- 規制緩和が進む中で、民間医療保険は、高度に商品多様化が進み、消費者の選択の幅が拡大した反面で、保障内容を正しく理解し、的確な選択が非常に困難な状況にある。

4

## 個人保険(個人年金を除く) 新契約件数構成比の推移



出典)『インシュアランス生命保険統計号』(各年度版)『生命保険事業概況』(各年版)より筆者作成。

5

## 民間医療保険の守備範囲(日本の場合)

- ① 公的保険給付以外の高度医療
- ② 疾病予防・健康維持管理・健康診断
- ③ 差額ベッド代や給食代、付添看護費用
- ④ 医療費の自己負担分
- ⑤ 生活保障・所得補償
- ⑥ アメニティ(快適さ)・質の向上

※民間医療保険では、 ↓↓↓

- (i) 現金給付(一時金、給付金)
- (ii) 定額給付(実損填補形式ではない)が中心
- (iii) 生活保障・所得保障に大きなウェイト
- (iv) 保障内容は年々多様化し、各社の独自性を競う

6

## 民間医療保険の普及要因

### <需要要因>

- ・保障ニーズの変化(死亡保障から生存保障へ)
- ・医療に対する意識変化(自己責任意識)
- ・社会保障水準の低下(自己負担の増加)
- ・医療技術の進歩(医療費の上昇)

### <供給要因>

- ・新規市場の開拓の必要性(既存市場の低迷)
- ・保険自由化(規制緩和)と激しい開発競争

7

## 複雑化・多様化する民間医療保険

- ①給付範囲の拡大(限度日数、終身保障)
- ②契約者対象の特化(女性、中高年者)
- ③保障内容の総合化と限定化
- ④加入基準の緩和(有病者、高齢者)
- ⑤危険選択手法の多様化(無選択保険)
- ⑥販売チャネルの多様化            など

8

## 2. 医療保険の構造的特徴

	医療保険	年金保険／死亡保険
保険事故	疾病の認定 (客観性に問題あり)	生存の事実 (客観性が高い)
リスク発生構造	反復して発生	原則一度
給付形態	損害填補+定額給付	定額給付
モラルハザード	多様な発生形態	限定的な発生
リスク管理	多様な変動要素を予測してリスク管理	主として死亡率を予測してリスク管理

9

### 医療リスクの特性

- ①加齢に伴う逡増リスク(=普遍的リスク)
- ②個人差が大きいリスク(=発生・認識の個人差)
- ③情報の非対称性・不完全性が大きい  
(逆選択・モラルハザードの発生可能性)
- ④リスク発生構造の多様性  
(頻度と規模が一様でない、反復して発生)
- ⑤変動要素の多様性・複雑性  
(医療制度改革、医療技術の進歩、などの影響)

10

## 医療保険をめぐる3つのモラルハザード

- (1)「注意力の弛緩」によるモラルハザード(=医療保険に加入したことで健康管理を怠り、結果的に医療コストがかさむこと)
- (2)「過剰診療」によるモラルハザード(=医療保険に加入することで、受診率が高くなること)
- (3)「過剰需要」によるモラルハザード(=受療時の医療サービスの需要コストが低下することから、医療サービスの需要量が逆に過剰になること)



保険者によるモニタリング(監視)が困難なために完全な排除は不可能

11

## 3.問題意識(シンポジウムの目的)

- (1)民間医療保険の構造と特徴(保険医学・保険数理・法律・経済からの理論的整理)
- (2)医療保険商品の多様化と経営問題(契約者の選択自由と選択責任のバランス)
- (3)契約者保護と保険会社ならびに保険行政(コンプライアンス、保険規制・販売ルール)のあり方)
- (4)医療保障における民間医療保険の役割(官民役割分担の考え方、保障領域の可能性)
- (5)医療保険の将来性(保険業の柱となりうるか)

12

## 民間医療保険の課題

- リスク管理手法(保険リスクおよび金融リスク)の改善
- 危険選択手法(モラルハザード、逆選択対策)の改善
- コスト管理(保険者機能の発揮)
- 実損填補型医療保険の開発研究
- 環境変化(医療技術の進歩、医療ニーズの変化、医療制度改革など)への対応
- 適正な比較情報の提供(過剰競争の弊害除去)
- 契約者保護の拡充の必要性

13

## 報告者紹介ならびに報告内容

第一報告:小林三世治(第一生命)

「保険医学からみた民間医療保険の課題」

第二報告:明田裕(ニッセイ基礎研究所)

「民間医療保険におけるリスク管理の課題」

第三報告:甘利公人(上智大学)

「医療保険約款における法的問題」

第四報告:中浜隆(小樽商科大学)

「民間医療保険の役割—日米の比較を通じて—」

14

# 本日の進行予定

- 13:40-13:55 問題提起  
13:55-14:10 第一報告:小林三世治(第一生命)  
「保険医学からみた民間医療保険の課題」  
14:10-14:25 第二報告:明田裕(ニッセイ基礎研究所)  
「民間医療保険におけるリスク管理の課題」  
14:25-14:40 第三報告:甘利公人(上智大学)  
「医療保険約款における法的問題」  
14:40-14:55 第四報告:中浜隆(小樽商科大学)  
「民間医療保険の役割ー日米の比較を通じてー」  
14:55-15:00 中間総括
- 15:00-15:20 <休憩>
- 15:20-16:20 パネルディスカッション  
16:20-16:50 全体討論(質疑応答)  
16:50-17:00 総括

15